

あぐね 市議会だより

第2回定例会（6月議会）



今号の主な内容

- 阿久根小学校児童の皆さんが見学に来られました…………… 2
- 市税条例等の専決処分を承認…………… 3
- 討論～多くの 賛否 活発に～…………… 6
- 各議員が市政を問う～一般質問～…………… 9



二次元コード

左の二次元コードをスマートフォンなどで読み取ると市議会のホームページにリンクします。

阿久根市議会



みどこい夏まつり
～議員も総踊りで
盛り上げました～

令和6年8月16日発行 (No.225)

阿久根小学校児童の皆さんが見学に来られました



6月13日、阿久根小学校児童の皆さんが、市役所を訪問し、議場を見学されました。

児童の皆さんのプライバシーに配慮し、見学の様子は後ろ姿で紹介します。

議長席から議場全体の様子を確認されました。



議長や市長役の議員に手を挙げて質問されました。



議員と協力して質問を行い、議会について学ばれました。

市税条例等の専決処分を承認

◆専決処分の主なもの

- ・市税条例の改正（承認）
法改正に伴う、大規模災害時の減免、特別税額控除について定める等の改正
- ・国保税条例の改正（承認）
課税額の減額基準額の引き上げと、上限額の引き上げの改正

◆議案の主なもの

- ・消防団員等公務災害補償条例の改正（可決）
政令改正に伴う、補償額の引き上げの改正
- ・令和6年度阿久根市一般会計補正予算（第1号）（可決）
補正後の一般会計予算 132億3,086万円

◆陳情の主なもの

- ・現行の健康保険証の存続に関する陳情（趣旨採択）
- ・少人数学級・教職員定数の改善並びに義務教育費国庫負担制度負担率の引き上げをはかるための、2024年度政府予算に係る国の関係機関への意見書を求める陳情（趣旨採択）



山田勝議員在職40年特別表彰



5月22日に開催された、第100回全国市議会議長会において、山田勝議員が在職40年の特別表彰を受けました。

（山田議員からのコメント）

昭和58年4月の初当選から「語りやすい、相談しやすい身近な議員」を信条に、市民の声を議会に届け続けて40年が過ぎました。長きにわたり議会に参画する機会をいただけておりますことは、市民の皆様のおかげと心から感謝申し上げます。

この間には、様々な市政の課題に直面いたしました。特に、強い意志を持って取り組んだ、保育所の保育時間の拡大、国立療養所阿久根病院の出水郡医師会への移譲、学校給食センターの民間委託などは、市政の大きな分岐点となり、私自身の議員人生にとっても節目となっております。

現在、直面している少子高齢化・人口減少は、本市の将来を考えると不安であります。これまで議員として携わってきた責任として、市民の皆様の負託にこたえるべく、本市の明るい将来と市民の安心・安全のために全力で取り組んで参ります。

予算委員会
委員長 白石純一
委員 議長を除く全議員

可決
賛成多数

補正予算

令和6年 第1号

主な審査を報告します。

価格高騰支援給付金

令和6年度に新たに住民税非課税または均等割りのみ課税になった世帯に、1世帯当たり10万円、子ども1人当たり5万円を給付。
総額4750万円

Q 支給はいつ頃を計画しているか。
A 8月中に支給予定。

コロナ予防接種

65歳以上、自己負担2100円を計上。
総額6300万円

Q 新型コロナウイルスの予防接種は何人くらいの予定か。
A 65歳以上人口の約60%の接種を見込み、4800人分を予定し計上した。

コミュニティ助成事業

二区の公民館備品計480万円、一区の防災設備40万円、消防団ベスト100万円。
総額620万円

Q 備品などの助成は、地域がお願いして、補助がなされるのか。
A 前年7月に全区に希望調査を実施、申請後、県がとりまとめ自治総合センターへ提出。採択されれば3月に通知がある。



ワクチン接種の様子。
今年度、どのメーカーのワクチンを使うかは未定です。

旧栽培漁業センター

土地の賃貸借。
年額286万6千円
で10年間の契約。

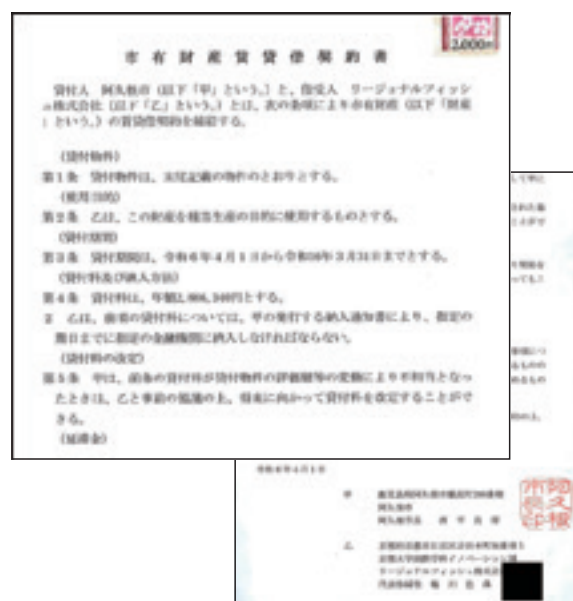
Q 契約書の住所は訂正が必要ではないか。
A 間違いがあるかもしれない。相手方に再度確認、修正したい。
Q 契約書を顧問弁護士は見ているのか。
A 市は弁護士に確認していない。

補正予算全体として

反対討論 人口動態の全般的な視点が存在せず視点が局部的。コロナワクチンの情報は、厚労省が発表しているが、市民は知らないまま接種、ワクチンの影響は大きい。

賛成討論

住民の頑張りを前向きに進める予算も組まれ、相談したら前向きにとらえてくれる部署もある。事業を前に進めなければうまくいかない。



旧栽培漁業センター土地賃貸借契約



ここに注目

旧栽培漁業センター土地貸付の契約書等を審査資料として行政に請求するか否かについて、紛糾し意見が分れましたが、資料請求し日程を延長して審査、活発な質疑、論戦が行われました。

総務文教委員会

委員長 渡辺久治

委員 高崎 川畑

川原 木下

山田 仮屋園

趣旨採択

賛成多数

決議・意見書
提出は見送り

保険証の存続に関
する陳情

陳情事項

「現行の健康保険証を廃止せず、存続すること」の決議採択と意見書提出。

陳情の趣旨

政府は、マイナ保険証との一本化を強制しようとしている。国民の不安払拭の為に、現行の保険証を存続させることが必要。



医療機関に設置のマイナ保険証を認識する機器
通称「マイナタッチ」

Q マイナカードをつくらない場合、医療を受けられる資格確認書が、ずっと送られてくるのか。

A 当分の間は市が発行し、送付する。

討論 理解はするが、マイナ保険証のメリットもあり、趣旨採択が妥当。

討論 医療現場の6割がトラブルと聞いている。採択でお願いしたい。

討論 陳情の内容は理解するが、確認書も5年間使える。猶予期間を考えると強制とは言えない。

ここに注目

国の政策、保険証廃止も資格証発行。市民には不安も。

両陳情とも陳情人の参考人招致は見送られました

趣旨採択

賛成多数

決議・意見書
提出は見送り

少人数学級の改善
に関する陳情

陳情事項

中学、高校での35人学級を早急に実現・学校の働き方改革、長時間労働是正へ向けて加配推進・教育の機会均等、水準維持向上の為の教育費負担割合の引き上げ等、関係機関への意見書の提出。

陳情の趣旨

学校現場では様々な課題が山積しており、憲法上からも、豊かな子供の学びを保証するため、条件整備が不可欠である。



中学校は現在40人学級編成
(写真は阿久根中学校)

ここに注目

本陳情は、昨年、同じ内容で採択されたが、本年は当市の現状に照らし、趣旨採択となり、意見書提出は見送りとなった。

Q 長時間労働の是正にどのような工夫が行われているか。

A 働き方改革を進めるように、指針を基に、各学校にも毎月の勤務時間を提出させ、確認している。

討論 地区内の学校のほとんどが満杯に採用がない状況で、当てはまらない。内容には賛成だが、意見書を出す理由がない。

討論 中学校の35人学級は良いことであるが、阿久根市の高校は35人を下回っており、県立でもあることを考え合わせ、趣旨採択としたい。

討論

多くの賛否 活発に

国民保稅条例の一部改正 専決
処分の承認

賛成 白石 純一議員

今回の改正により、高額所得者の税負担が増え、低額所得者の国保稅負担は軽減されると理解した。
高額所得者の方の負担を大きくし、低額所得者の方の負担が軽減されることは、あるべき姿だと賛成する。

反対 竹原 信一議員

トータルとして市の増収になり、市民の負担増。一部は減税になる方もいる。
こういうやり方をずっとやると、全体として市民の負担は増える。これ以上負担が多くなると支えられなくなる。一般財源からの繰入れによって緩和することができ。それに取り組むべき。



令和6年度一般会計補正予算
(第1号)

賛成 大野 雅子議員

旧栽培漁業センター施設は、土地貸付収入が入り、令和7年度分から固定資産税も入るようで良かったと思う。
出水地区広域観光プロジェクトにも期待している。

アクネファン創出事業についても、移住者にとってどのようなメリットがあるか、紹介を丁寧に行っている事業と考える。

どの事業にも真摯に向き合い、市民の福祉に尽くしていただけたと考え、賛成する。

反対 川畑 二美議員

市役所、番所丘に太陽光が設置されているにもかかわらず、電気の予備が必要か。

市役所も5時15分過ぎるとクーラーが消え、職員も残業で職場環境が悪い状態で仕事するのは大変である。
番所丘公園の施設整備事業も予算が大きい。

学校の段差解消は良いが、エレベーターなど考えないのか。もっと予算をつけていいのではないか。

現行の健康保険証の存続に関する陳情

趣旨採択に賛成 渡辺 久治議員

残念ながら我が国は、様々な方面でDX化が遅れている。私を含め国民はどこかで期限を切らないと従来の習慣から脱却できない。

より質の高い医療提供を目指すものとしてのDXの推進が「マイナ保険証」に象徴されており、5年間の「資格確認書」も用意されている。

この医療制度の移行に対し全面的に賛同するものではないが、この移行期間に、障害者や高齢者に対する十分な目配りを要望して、この陳情には、趣旨採択が妥当である。

採択に賛成 白石 純一議員

国民のマイナ保険証利用率は、4月時点で6・5%。阿久根市民の利用率は12・5%である(※)。

私は使うようにしているが、スムーズに機械が反応してくれないことがあった。

国は進めようとしても、国民、市民の利用が追いついていない。機器も不備が多い。この現状を見ると、現時点で健康保険証を廃止することは時期尚早。

存続すべきという陳情に賛成、趣旨採択に反対である。

(※) 国民の利用率は、全被保険者。市民の利用率は国保被保険者。

採択に賛成 川畑 二美議員

陳情者の意向を重視して、陳情については、マイナ保険証への国民の不安がある。

医療現場についても、機械が読み取れないトラブルも多いとお聞きしている。

利用率も5%を切る状況が続いている国民の不安払拭のためにも、長年利用されている健康保険証の継続させることは、ぜひ採択していただきたい。



少人数学級等の改善に関する陳情

採択に賛成 川畑 二美議員

毎年、今の時期に出てるという話であった。

少数、昨年も採択という話であったので、やはり少人数学級については、趣旨が、学校現場の解決すべき課題は山積しており、子供の豊かな学びを保障するため、現場も大変苦労されている。前と違い、研究授業に教材を出したり、先生方も大変苦労されているというのを、この文書の中からも読み取り、これに対しては、採択していただくように、お願いする。

委員会条例の一部改正

賛成 竹原 信一議員

「うっかりしていた、だから今回、認めてちょうだい」という説明だったと理解した。こういう事では良くない。本来は委員会を統一すれば済む話である。賛成ではあるが、こんな少ない委員会は今後統一に向けていくべきである。



健康保険証とマイナンバーカード統合の課題に関する決議・意見書

反対 川原 慎一議員

総務文教委員として、趣旨採択に賛同し、意見も委員会の中で述べた。

各種トラブル等が社会問題になっているが、現状として、国、市もそこに對して一生懸命頑張っている状況でもある。

現在も実際に国も市も進めているというのを考えると、ここをわざわざ意見書として出す必要はないと考える。これから先、しっかり阿久根市は進んでいくものと期待して、この意見書、決議に關し反対する。

賛成 白石 純一議員

全国の、国保、社保を含む被保険者のマイナ保険証利用率、阿久根市の国保の被保険者の利用率から、まだ利用は促進されていない実態がわかる。

カードリーダーの不備も改善し、利用を呼びかけることで、利用率が100%に近づいた時点で、保険証を廃止すべきで、現時点で廃止すべきではない。

この決議、意見書にあるように、インフラや制度の改善を図り、安心安全に利用できるようにすることが肝要。これらの議案に賛成する。

賛成 竹原 信一議員

全国の老人ホームや老人保健施設の調査によると入居者の保険証を預かっているのは83・6%で「マイナ保険証は管理できない」と回答した施設が94%もあった。カードもパスワードも預けなければ使えない。高齢者は憶えていない。カードを預かる施設は責任があまりに重い。今のままで保険証を無くすと非常に困ったことが起こる。私たちが施設に入る時には大変なことになる。いろんな課題を解決してからでないと取り入れるべきではない。

賛成 川畑 二美議員

今の保険証の来年度廃止に基づくことで、延期すべきは40%、撤回すべきが33%で、トラブルへの政府への対応は適切ではないが72%、適切が19%、マイナンバーカード利用拡大は大いにある程度不安だという方が73・7%、あまり全く不安を感じないというのが24・8%、大いにある程度不安だということを感じていらっしゃる方が多いということ。この決議書と意見書を採択していただきたい。

令和6年第2回定例会 議案・審議・議決結果

議案等番号	内容	議員名（議席番号順）														議決結果	
		高崎良二	竹之内和満	大野雅子	渡辺久治	川畑二美	白石純一	川原慎一	竹原信一	大田基次	牟田学	木下孝行	山田勝	濱田洋一	仮屋園一徳		
報告第3号	専決処分の承認について (市税条例の一部改正)	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	—	承認	
報告第4号	専決処分の承認について (国民健康保険税条例の一部改正)	◇	◇	◇	◇	◆	◇	◇	◆	◇	◇	◇	◇	◇	—	承認	
報告第5号	専決処分の承認について (令和5年度一般会計補正予算（第10号）)	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	—	承認	
報告第6号	専決処分の承認について (令和5年度国民健康保険特別会計補正予算（第4号）)	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	—	承認	
議案第34号	消防団員等公務災害補償条例の一部改正	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	—	原案可決	
議案第35号	子ども・子育て会議条例の一部改正	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	—	原案可決	
議案第36号	ひとり親家庭医療費の助成に関する条例及び阿久根市 営住宅条例の一部改正	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	—	原案可決	
議案第37号	包括的支援事業の実施に関する基準を定める条例の一部改正	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	—	原案可決	
議案第38号	水道事業布設工事監督者の配置基準及び資格基準並び に水道技術管理者の資格基準に関する条例の一部改正	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	—	原案可決	
議案第39号	給水条例の一部改正	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	—	原案可決	
	令和6年度一般会計補正予算（第1号）	◇	◇	◇	◇	◆	◇	◇	◆	◇	◇	◇	◇	◇	—	原案可決	
議案第41号	市議会委員会条例の一部改正	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	—	原案可決	
陳情第3号	現行の健康保険証の存続に関する陳情	◇	◇	◇	◇	◆	◆	◇	◆	◆	◇	◇	◇	◇	—	趣旨採択	
陳情第4号	少人数学級・教職員定数の改善並びに義務教育費国庫 負担制度負担率の引上げをはかるための、2025年度政府 予算に係る関係機関への意見書を求める陳情	◇	◇	◇	◇	◆	◆	◇	◆	◆	◇	◇	◇	◇	—	趣旨採択	
決議第1号	健康保険証とマイナンバーカード統合の課題に関する 決議	◆	◆	◆	◆	◇	◇	◆	◇	◇	◆	◆	◆	◆	—	否決	
意見書第1号	健康保険証とマイナンバーカード統合に関する課題への 対応を求める意見書	◆	◆	◆	◆	◇	◇	◆	◇	◇	◆	◆	◆	◆	—	否決	

【表の見方】 議：議案 請：請願 陳：陳情 意：意見書 *：全会一致 ◇：賛成 ◆：反対 —：表決権なし
・仮屋園一徳議員は議長職のため議案については、表決（賛成、反対の意思表示）権はありません。

訂正とお詫び

前号の市議会だよりの10ページ「令和6年第1回定例会 議案・審議・議決結果」中、議案第28号、令和6年度後期高齢者医療特別会計予算、白石純一議員は賛成で竹原信一議員は反対、議案第31号、財産の無償譲渡について、白石純一議員は反対で竹原信一議員は賛成の誤りでした。お詫びして訂正いたします。



正

議案等番号	内容	議員名	
		白石純一	竹原信一
議案第28号	令和6年度後期高齢者医療特別会計予算	◇	◆
議案第31号	財産の無償譲渡について	◆	◇

誤

議案等番号	内容	議員名	
		白石純一	竹原信一
議案第28号	令和6年度後期高齢者医療特別会計予算	◆	◇
議案第31号	財産の無償譲渡について	◇	◆

各議員が市政を問う

一般質問

令和6年第2回定例会では、9名の議員が一般質問を行いました。

- 1 濱田 洋一 議員「夜間中学」
- 2 白石 純一 議員「太陽光発電」
- 3 渡辺 久治 議員「脇本海岸の保活」
- 4 大田 基次 議員「手続の簡略化」
- 5 竹原 信一 議員「消滅の危惧」
- 6 大野 雅子 議員「番所丘公園」
- 7 山田 勝 議員「学校の統廃合」
- 8 川畑 二美 議員「福祉タクシー」
- 9 川原 慎一 議員「医療体制確保」

掲載内容については、それぞれの議員が行った一般質問の主な項目についての質問と答弁の要旨であり、質問者がまとめ、広報広聴委員会が編集したものです。

一般質問動画の視聴について

議員写真の左下にある二次元コードをスマートフォン等で読み取ると、各議員の一般質問をYouTubeで視聴できます。視聴の際はデータ通信料が発生する場合がありますので御了承ください。

夜間中学の役割とは

就学機会、学びの場の提供

濱田 洋一 議員

夜間中学

濱田 夜間中学は、どのような役割を果たすのか。

教育長 学齢を経過した方、様々な事情により十分な義務教育を受けられないまま中学校を卒業された方、また、外国籍の方等へ就学機会・学びの場の提供を行う。

濱田 県教育委員会が、令和4年度に実施した「夜間中学に関する二一



動画視聴



ズ調査」において、本市の入学希望者数が比較的多い結果であったが、近隣の市町と連携を図り、北薩エリアに夜間中学を設置することが必要であると思う。本市において検討し設置場所として、旧大川中学校の施設が活用できると考えるが。

教育長 不透明な中ではあるが、本市は北薩エリア中央部に位置しており旧大川中学校は利便性がよく条件を満たしていると考えている。また、鹿児島市に来年4月に開校予定の夜間中学の取組みを注視し情報収集して在り方について研究していく。

質問者のひとこと

何事も「そなえよつねに」このことが大事である。



施設を活用し、就学機会・学びの場の提供を



運転開始1年で事業撤退・譲渡を決めた、
トラスバンク主導の市太陽光発電

白石 市が1億600万円出資した組合から、利益分配はあったか。今年度、

太陽光発電

1年で事業撤退譲渡 見解は

協議進行中、前向きに

白石 純一 議員



動画視聴



配当はなかった。分配金の見込み時期は、今後の運営状況による、との説明が事業者からあった。
白石 トラスバンクの1年での事業撤退、譲渡に対する見解は。
市長 協議をしており、前向きに進めたい。

白石 障がい者雇用で市勧告県内で唯一、4年連続
本市は労働局から、

県内自治体で唯一、4年連続で適正実施勧告を受けた。所見を求める。
市長 当該枠の受験者数少なく、苦慮している。

トイレ洋式化、学校間男子・女子間で格差

白石 洋式化に、西目小男子100%・女子33%、折田小男子100%・女子69%など差がある。我慢してトイレに行かない子供もいるが。
教育長 状況は把握している。

図書館、新たな候補を

白石 風テラスはバス停や阿久根駅から遠い。子供や運転しない市民にもアクセスが必要。駅隣など新たな候補は考えないか。
市長 見直すのは現実的ではない。

質問者のひとこと

障がい者雇用、市が法令を満たさなくて良いのでしょうか。

無償の活動をどう思うか

大変有難いと思う

渡辺 久治 議員



動画視聴



が、地権者との契約不手際で入札結果が反故となり、結局、NPOが無償で海岸の巡回業務のみならず駐車場管理もやっているが、どう思うか。

市長 駐車場の土地所有者が「今後は市に土地は貸せない。自然環境の観点からNPOに管理をお願いしたい」との意向が示され、今年度も利用者が駐車場として利用でき

脇本海岸の保活

渡辺 南側駐車場の業務委託について、見積りが入札に変更になり、NPO以外の団体が落札した



脇本海岸の清掃作業風景（昨年7月）

ているので、所有者及びNPOに対し、大変有難いと考えている。

渡辺 NPOの活動に対し、行政としての予算的な支援が全くなされていない現状をどう思うか。

市長 現状を踏まえた中で、市として何らかの支援をするのは難しいと言わざるを得ない。

渡辺 これまで、行政・業者・NPOの三者が入った景観条例検討委員会を提案してきた。今が正に好機と捉えるが如何。
企画推進課長 条例制定には、市としてその必要性を検討する必要がある。

【その他の質問】

・区の加入率について
・水道事業の在り方
・洋上風力発電について
・あくねWind Bandについて

質問者のひとこと

美しい脇本海岸の環境保全と活用の両立を皆で考えて行きましょう。

手続き 簡略化できないか

要綱で必要 ご理解を

大田 基次 議員

手続の簡略化

大田 猫の不妊手術事業については、手続に大変手間がかかると思うが、簡略化できないか。

市長 申請者による一定の手続きも必要となるが、「阿久根市飼い主のいない猫の不妊手術事業補助金交付要綱」に基づき、補助金の交付に必要な手続となるので、ご理解をお願いしたい。



動画視聴



飼い主のいない猫の不妊手術
本年度から市の事業が実施される

消滅可能性自治体

大田 2014年に消滅可能性自治体とされてから、子育て世代への取組がなされたことを伺ったが、これまでの施策の具現化をどう判断しているか。

市長 少子高齢化や人口の減少に対応した地方創生施策の取り組みを進めているが、特に、移住・定住のきっかけづくりにも取り組みたい。

トイレの洋式化

大田 小中学校のトイレの洋式化をもっと積極的

に進めるべきではないか。
教育長 毎年、トイレの洋式化等について年間2校程度の学校について、順次整備を進めている。

観光案内所

大田 阿久根駅前の観光案内所は多くの市民がその存在を知らない。周知・宣伝への市長の考えは。
市長 今後、広報紙や市の公式SNS等を通じて、市民に対して、観光案内所の周知を図ってまいりたい。

なぜ市民から逃げられる

今の我々に言われても

竹原 信一 議員

消滅の危機

竹原 給与中央が市民の倍という人材確保策は市民の幸福に寄与したか。
総務課長 優秀な人材確保が市民福祉向上につながると考える。

竹原 衰退を改善できないが優秀な人材という話はおかしくないか。
市長 一生懸命進めている。質問は筋違いではないかと思う。



動画視聴



竹原 「税金を使い市民を幸福にできなかった。失敗しました。申し訳ありません」が市長の言うべき話だ、一生懸命は大前提である。あんまり甘えたことを言わないで。

市長 頑張りたいと思っている。今の側面だけでこの状況になっているという事を投げかけないでほしい。

竹原 もうあなたは何期やっている。安全安心は議会や職員だけ、市民に寄り添う事がなぜできない。大変な格差で、今にも崩れそうな廃屋のそばで身の危険を感じながら



住宅隣接の崩壊廃屋

暮らさなければならぬ。なぜやれないのか。
市長 危険家屋には、一定の手続きに則ることが大事だと思っている。

竹原 10年以上前から危険な状態だ。期限は裁量権だ。いつ撤去してくれるのか。権限は法令に定められている。

市長 様々な手続き・ルールに則ってやっていることと理解している。

質問者のひとり

「他人の痛みは100年でも耐える」風のお役所仕事に逃げられました。

キャンプ場の目的は何か

交流人口の増加につなげる

大野 雅子 議員



動画視聴



千円・過疎債が1億1990万円・一般財源64万5千円。

大野 過疎債の国の補填率は何か。

都市建設課技監 交付税措置率70%。

大野 利用見込み客数と収益見込み額を示せ。

都市建設課技監 年間1000人、120万円と見込んでいる。

大野 市内の子供たちにキャンプ体験をさせる事

大野 整備費用総額と財源を示せ。
都市建設課技監 総額1億4148万1千円。国の補助が2093万6



友達との阿久根キャンプは一生の思い出に。

は出来るか。

市長 現時点、貸出テナントの整備はないが、今後準備する予定。子供たちに、キャンプ、星空観察、カヌー体験、色んな教育にまたがる形で体験を検討していく。

子育て支援について

大野 産後ケア事業の訪問型は行わないのか。

市長 事業に改善を加えていく。

大野 病児病後児保育は実施しないのか。

市長 議論を進めていく必要がある。

大野 ファミリーサポートセンター事業は取り組みなののか。

市長 子育てに対する支援体制が一定程度整っている。検討していない。

質問者のひとこと

ファミサポ事業は、子育てを手伝って欲しい家庭と、子育てを応援したい人を繋ぐ取組。これからは必要なのではないか。

規模適正化の新たな目標は

小学校R10年、中学校R9年

山田 勝 議員



動画視聴



年4月、中学校は令和9年4月を目標に、学校の状況等に応じて進める。

山田 歴史のある学校をなくすのは大変であるが、避けて通れない現状がある。人間関係が人を育てるということを考えると

学校の統廃合

山田 小・中学校の統廃合の新たな目標は。

教育長 小学校は令和10

思うが、教育長の覚悟は。
教育長 学校の状況、保護者や地域の意見も様々

早期の統廃合が望まれる。



である中で、地域に視点を置けば統廃合はできない。将来を担う子供たちに視点を当てていただきたい。対人関係はある程度の人数の中でなければできない部分がある。今後の教育を考えて政策を推進していくべきだと考えている。

観光について

山田 阿久根大島の年間渡航人数と市の予算は。

商工観光課長 令和5年度は5千300人。令和6年度の予算額は2千674万円。

山田 渡航人数は増える希望はない。運営の仕方を見直す考えはないか。

執行部 維持管理もしっかりできるやり方に重点を置き、研究を進める。

脇本海水浴場について

山田 折口・脇本一帯を周年観光地にする考えはないか。

執行部 地元との調整等課題はあるが、この地域がより発展することに力を尽くす。



動画視聴



川畑 タクシーの基本料金が値上がりしている中、高齢者等福祉タクシーの1枚当たりの金額と支給枚数を増やすことはできないか。

市長 限られた財源中、アンケートの内容も踏まえ利用率向上のため引き続き検討していく。

福祉タクシー

金額・枚数 増やせないか

利用向上 引き続き検討する

川畑 二美 議員



交通手段は車が必要である。

給食費無償化できないか
引き落としは見直しを

川畑 県内でも学校給食費が無償の自治体が増えているが、学校給食費を無償化できないか。

教育長 今後の国、県及び他自治体の動向を注視しつつ、その財源も含めて検討すべき課題であると捉えている。

川畑 学校給食費を児童手当からの引き落としとするこの見直しはできないか。

教育長 平成28年度か保護者の申請により年3回の引き落としをおこなった

ているところで、見直しは考えていない。

【その他の質問】

・観光について
「たからのまち」マナー
ジャーについて
・川内原子力発電所の仕様
済核燃料について

質問者のひとこと

給食は1日の食事の中で体と心を作るために無償化を考えていくべきだと思う。

産科の医療体制について

北薩3市2町で連携を図る

川原 慎一 議員

医療体制確保

川原 現在、本市には分娩ができる医療機関がないが、解消できないか。

市長 大変大きな問題と捉えている。市民が出産する場合、約7割の方が出水、薩摩川内市の医療機関で出産している状況にある。これを踏まえ、3市2町で周産期医療体制確保に取り組んでいるが、新たな産科医療確保に

至っていない。引き続き北薩地域で連携を図ってきたい。

教育長の今後の取組み

川原 3期目の所信は。

教育長 教育は子供の未来を切り開き、社会や地域の未来を創るものであると信念を持ち、本市の教育行政の充実・発展に努めていく。

川原 今後の教育行政の推進については。

教育長 社会が変化しようにと変わらない価値（不易）、社会の変化とともに変えていくもの（流行）を十分に見極め、これか



安心して子どもを産み育てられる施策を。

らの時代を担っていく人材育成や、これからの社会を生き抜く資質や能力を身につけさせる。

学校防災について

川原 防災教育や防災対策に何が必要か。

教育長 防災の視点が教育活動に取り入れられ、防災の取り組みが日常的に行われている。防災の取り組みで災害に強い学校づくりを進める。

質問者のひとこと

分娩ができる医療機関は勿論、他の医療体制の充実に取り組む。

議 会 を 傍 聴 し て み ま せ ん か



市議会は、市の予算や施策について話し合い、決定する大切な場所です。グループ活動や学習の機会にぜひ傍聴にお越しください。

来られない方は、市ホームページ内、市議会ページの議会中継、中継録画をご利用ください。

一般傍聴席は4階です。

3階には、車椅子傍聴席もご用意しております。

令和6年第3回定例会の予定

令和6年第3回定例会の会期日程(案)をお知らせします。日程は諸事情により変更される場合がありますので、市ホームページ、防災行政無線の放送などでご確認をお願いします。

月	日	曜日	会議の内容
9	6	金	本会議(提案説明、質疑)
	11	水	本会議(一般質問)
	12	木	本会議(一般質問)
	13	金	委員会(条例、補正予算等の審査)
	17	火	委員会(条例、補正予算等の審査)
	26	木	本会議(委員会審査報告、表決)

市議会

インターネット

ライブ中継

はこちらから



過去の市議会

中継録画

はこちらから



本会議の記録

(会議録・平成13年度以降)

委員会記録の閲覧

はこちらから



委員から一言

議会への市民参加をめざす議会基本条例には「政策検討会を開催して政策提言に努める」と定めていますが、一度も開催した事はありません。「議会は討議の場と認識し、十分な討議を尽くして合意形成に努める」とありますが、言いつ放しと多数決で簡単に済ませる。無責任の極みです。消滅危惧の責任は議会にあります。我々議員は自ら責めを負うべきです。議員の精進に市民の皆様への厳しい監視と、ご鞭撻を切望します。

(委員 竹原 信二)

発行責任者

議長 仮屋園一徳

副議長 川原 慎一

委員長 白石 純一

委員 高崎 良二

委員 大野 雅子

委員 川畑 二美

委員 竹原 信一